

北日高チロロ岳（1880m）

◇ 雄大な日高の山は時には入山を拒むが、その懐は今日と言う日を暖かく迎えてくれた ◇

◇ 山行日：令和 3年 8月21日(土) ◇ ルート(コース)：パンケヌーシ川 曲り沢・ニノ沢コース

◇ メンバー：L 藤木、SL相馬、SL内山、酒井、水江、戸島、八重樫さん、笹山さん、成田さん(計 9 名)

◇ コースタイム：7:50 パンケヌーシ林道ゲートP場 8:30 曲り沢入口 12:15 尾根乗越 13:15 1713コル

14:00 1713コル下山 15:00 尾根乗越 18:00 曲り沢入り口 18:30 パンケヌーシ林道ゲートP場

今日は快晴の下、早朝に日高町のコンビニで理事長他、各メンバーと合流しました。

今回は新にお仲間さんの苦小牧メンバーの成田さんも皆様とはお初です。

そこで、ご挨拶の後にSLからコンパスの件でご相談があり、乗車させて頂いた車にザックを取りに行くがそのザックが見当たらない。

そうです!! 私、戸島は苦小牧班が合流して一台の車に荷物を積む際にそのメインザック（行動食、エイド、夏靴、その他）を自家用車に忘れた事に気付く。～これは大失態です。

しかし、何とか沢装備(沢ジュース、ヘルメット、他)は別のサブバックに入れて積んでおりましたので幸いにも難を逃れました。(必要な飲み物や食料はその場のコンビニで調達)

★すっかり皆様にご心配をかけてしまいました。申し訳有りません★

この大失態の後に登山口まで移動しましたが、駐車場には数台の先行者の車が既に駐車中。

やはり人気のチロロに焦点を絞った方々は今日の天候を狙ってましたね。

スタートしてからは長い林道歩きが有り、その後に入渓。

なかなかの勾配が急な沢とロングルートに悪戦苦闘で体力が奪われます。

やっと辿り着いた沢靴履き替えポイントで夏靴にチェンジ(私は夏靴をメインザックに入れてましたので、沢靴のままです)そこからはやや長い急な下りでコルへ。

そこには数々の日高山脈の名山が一望できる展望ポイント。

ここで昼食をとりながら、皆様で山座同定の会話にテンションMAX!

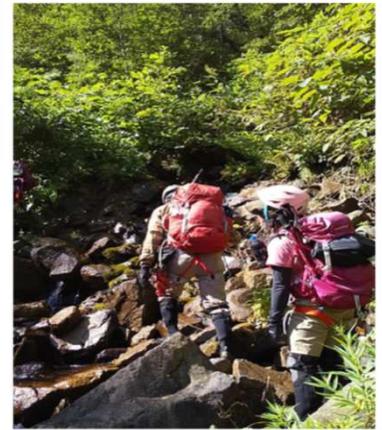
まったりしながら時間も押していた事も有り、今日はここがピークとなりました!

*リーダー、サブリーダーの的確な判断に感謝です。

やはり日高山脈は一筋縄には行きませんが、快く私達を迎えてくれた日高山脈に感謝をしながら楽しく山行を終えました。

記録 戸島

チロロ岳は遠望がすこぶる良く、孤高の山として親しまれる山



🏠既に6台のP場 3台で割込む
👉取水ダムを過ぎて左岸から入渓する



曲り沢の前半から滝の連続、ほぼ沢登り。



熊の糞が!! 今朝のか?
緊張がはしり笛を吹く!



曲り沢から尾根乗越 // 夏靴に履き替え二の沢に入る



勇氣百倍⇒チロロ標識



チロロ岳山頂が現れる
ハイ松が凄いぞ
ピラミダル前峰の後ろに
山頂が



チロロ岳とチロロ西峰の1713mコルにて(幌尻や戸蔭別、すぐ後ろにピパイロ岳)



振り返るとペンケヌーシ岳が鎮座している